

よい一年になりますようにー。

町内各地で年越し・初もうで（金持神社・聖神社）



新年を迎え金運・開運を願う姿が見られた金持神社



聖神社境内の周りに灯る竹灯籠

年が明け、今年一年の無病息災などを願い、町内各地の神社で初もうでに出かける人の姿が見られました。

毎年多くの参拝者が訪れる金持神社では、12月31日（大みそか）から、町内をはじめ県内外から参拝者が訪れました。

金持神社の元旦から1月3日にかけての人数は約1万人。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響と、年末に降り続いた雪のため例年より少ない人数でしたが、参拝者は家族の無病息災や金運・開運成就など、さまざまな願いごとを

していました。

札所（売店）では、スタッフらが「良い年になりますように」「気を付けて帰ってください」など、一人一人に温かく声を掛ける様子がみられました。

また、聖神社（黒坂）では、境内をほのかに照らし出す手作り灯籠の姿が。毎年恒例となっている竹灯籠の点灯。星型などさまざまな模様にくり抜かれた竹灯籠が、参道や境内をやわらかな光で照らし出し、初もうでに訪れた参拝者を迎えていました。

地元の食材を大胆にアレンジ

農業高校対抗料理コンクール受賞作品 試食会



地元特産品をたっぷり使った特製弁当

12月9日、日野高校が、農業高校対抗料理コンクールで「アイディア賞」を受賞しました。これを受け、12月23日、地域の特産品を使用したメニューの商品化を目指そうと、日野高校で受賞作品の試食会が開かれました。

当日の試食会には、特産品の生産者や関係者らが参加。「奥日野デリカランチボックス」と名付けられた弁当を試食しました。

町の特産品であるシイタケが入ったビーフストロガノフや、星空舞を使った洋風混ぜご飯など、工夫を凝らした弁当が振る舞われました。

降雪シーズンを乗り越えよう

菅福除雪隊結団式



地域のためにとやる気を見せる除雪隊のメンバー

12月27日、J R上菅駅前で、菅福地区の除雪隊の結団式が行われました。

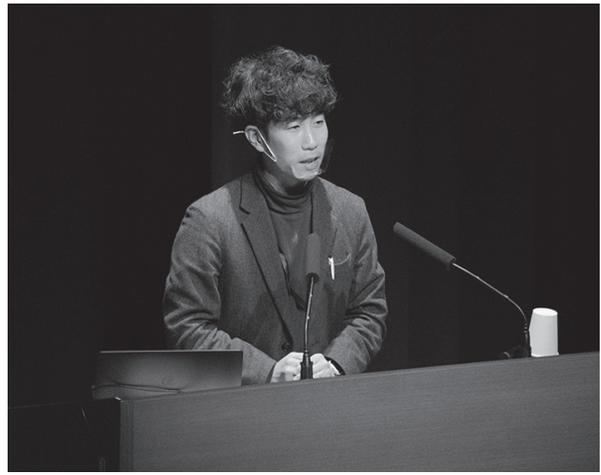
菅福地区の除雪隊は、自力での除雪が困難な世帯の不安を解消し、安心して春を迎えてもらおうと、2014年から活動を行っています。今年度は、菅福地区を中心に12集落、約24世帯を対象に除雪を行う予定です。

この日は、除雪隊のメンバーである菅福地区の民生委員や地域おこし協力隊、ボランティアなど9人が集合。「互助の精神で、安心安全な地域づくりに貢献したい」と話し、決意を新たにしていました。



## 地域の課題と高校生の未来づくり

日野高校魅力向上推進協議会&日野郡ふるさと教育推進協議会協働シンポジウム



「世代を超えた交流の場を」と檜垣さん

日野高校の魅力アップに取り組む日野高校魅力向上推進協議会と日野郡ふるさと教育推進協議会による協働シンポジウムが、12月12日、「探究」が拓く地域と若者の未来」をテーマに、町文化センターで開かれました。まず始めに、「豊かな暮らしを、すべてのひとに」と題して、一般社団法人豊かな暮らしラボラトリー（ユタラボ）代表理事の檜垣賢一さんが講演を行いました。



来場者と高校生とのワークショップも開催

増えてほしい」と語りました。その後、島根県立情報科学高校、鳥取城北高校、青翔開智中学校、高校、日野高校の生徒らが、それぞれが取り組んだ地域づくり活動を紹介します。また、日野町役場地元改革（JK）課の卒業生が、当時の体験や地域での探究活動が、今の自分にどう影響したのかを語り合いました。



▲開発を手掛けた船越さん（左）と増田さん（右）



## 特産品のシイタケがたつぷり「まなびや縁側」の生徒らがカレーを開発

12月16日、日野郡公設塾「まなびや縁側」の生徒らが開発した、町特産品を使用したカレーの試食会が、山村開発センターで行われました。これは、まなびや縁側の生徒である船越美里さんと増田京夏さんが、地域探究活動の一環として取り組んだもの。「カレー工房ダーニャ」（島根県東出雲町）の門脇幹尚さん監修のもと、町特産品のシイタケがたつぷり入ったカレーを開発しました。「しいたんがつかるとおいしいたけカレー」と名付けられたこの商品は、今後、金持テラスひのなどにて販売予定です。

## 年の瀬を迎えたまちに活気あふれる くらさか大歳の市



ずらりと並ぶ軽トラックには多くの野菜が

12月26日、JR黒坂駅前で、くらさか大歳の市（黒坂フェスタの会主催）が開かれました。今回で5回目となる同イベント。当日は、町内外から15店舗が出店し、軽トラックに野菜が並ぶ軽トラ野菜市をはじめ、白もちや餡もち（大夢多夢）、手作りパン（エミーズカフェ）などが販売されました。新型コロナウイルス対策のため飲食スペースはありませんでしたが、多くの人が訪れました。また、しめ縄作り教室も同時開催。講師の和田佳洋さん（小河内）の手際よい作業を手本にしながら、参加者は丁寧にしめ縄を仕上げていきました。